

21岡崎総第3-104号  
平成21年 6月25日

関係機関の長 殿  
関係各位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
生理学研究所長 岡田 泰伸〔公印省略〕

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所  
脳機能計測・支援センター形態情報解析室准教授の公募  
について（依頼）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所では、このたび下記の要領で准教授を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知についてよろしくお願いします。

#### 記

##### 1．研究・業務内容

脳機能計測・支援センター形態情報解析室では、生理学研究所に設置された超高压電子顕微鏡を使用した共同利用実験、および同機器の維持・管理を担当する准教授を公募します。研究分野として生物標本を対象とした電子顕微鏡観察に精通した方が望ましいですが、必ずしもその限りではありません。

##### 2．就任時期

決定後できる限り早期の着任を希望する。

##### 3．任期

5年。ただし、任期更新可。（「大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所研究教育職員の任期に関する規則」による。同規則等の内容は、ホームページ <http://www.nips.ac.jp/> を参照）

##### 4．公募締切

平成21年7月31日（金）（必着）

##### 5．提出書類

- (1) 推薦書（同封様式）
- (2) 略歴書（同封様式）

- (3) 業績目録（別紙 1 により作成のこと。）
  - (4) 主要論文の別刷又はコピー 10 編以内 各 2 部
  - (5) 現在までの研究概要と着任後の抱負（1,500 字程度）
  - (6) その他参考資料（別紙 2 を参考にして作成のこと。）
- 原則として提出書類は返却しません。

## 6. 送付先及び問い合わせ先

### (1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター総務部総務課人事係  
「形態情報解析室准教授応募書類在中」と朱書きし、  
簡易書留で送付すること。

### (2) 問い合わせ先

（給与等処遇に関すること）

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター総務部総務課人事係  
電話：0564-55-7113

（業務内容等に関すること）

〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1 番地  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所  
脳機能計測・支援センター長 鍋倉淳一  
電話：0564-55-7851, e-mail: nabekura@nips.ac.jp  
生理学研究所ホームページ：<http://www.nips.ac.jp>

# 推 薦 書

下記のとおり，脳機能計測・支援センター形態情報解析室准教授の候補者を推薦します。

## 記

1 被推薦者氏名及び現職

氏 名

現 職

2 推薦理由（記入欄が足りない場合は，適宜，用紙を添付してください。）

平成 年 月 日

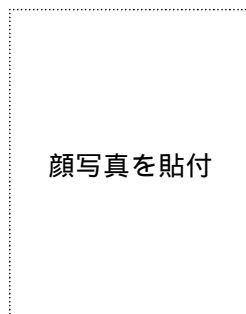
推薦者職・氏名

印

# 生理学研究所 脳機能計測・支援センター 准教授 候補者略歴書

平成 年 月 日 現在

応募研究部門	形態情報解析室	
応募の職	准教授	
ふりがな 氏名 (旧氏名)		
生年月日	年 月 日 ( 歳 )	
学位	種類	( 年 月 )
	授与機関	



修 学 期 間	学 歴 事 項
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
在 職 期 間	職 歴 事 項
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
従 事 期 間	職歴以外の研究又は教育歴事項
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

従 事 期 間	その他学会活動等に関する事項
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

現 在 の 所 属 先		
所 属 先 の 住 所		〒
所属の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

自 宅 の 現 住 所		〒
自宅の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

その他参考事項
---------

別 紙 1

〔業績目録の様式〕

- 1 A 4 版用紙を用い，A ) 原著論文，B ) 総説及び著書の順で記載してください。
- 2 個々の論文，著書については，著者名（共著者を含め印刷物どおり），発表年，題名，誌名，巻・頁，（発行所：著書の場合）の順で，発表順に番号を付けて記載してください。

〔記入例〕

A ) 原著論文

- 1 . Neher E & Sakmann B (1976)  
Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers.  
Nature 260 : 779-802

B ) 総説及び著書

- 1 . 日本太郎 ( 1 9 9 0 )  
聴覚の生理的基礎 勝木編 感覚の生理学  
P . 5 1 - 7 0 岡崎書院

## 別 紙 2

### 〔その他参考資料の様式〕

A 4 版用紙を用い， 国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演， 国際共同研究の実績， 競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5年)， その他の順で記載してください。

### 〔記 入 例〕

#### 国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

1 . 生理太郎 (2000, 3)

Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition

The 26th SEIRIKEN International Symposium, "Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition", Okazaki, Japan (invited speaker)

#### 国際共同研究の実績

1 . Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95

研究テーマ: Visual pattern recognition by primate neuronal networks

共同研究者: 生理太郎, Darwin C, Yang J

(代表者がある場合は下線を引いて下さい)

研究期間: 1995, 6 - 1998, 5

#### 競争的資金からの研究費の獲得状況 (最近の5年間)

1 . 戦略的基礎研究推進事業 (科学技術振興事業団)

研究テーマ: 体性感覚における視床-大脳皮質機能連関 (研究代表者)

期間: 1996, 4 - 2000, 3

研究費総額: 230,000,000 円

#### その他

1 . 1996年 日本生理学会奨励賞